

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第5区分
 【発行日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【公開番号】特開2005-206997(P2005-206997A)
 【公開日】平成17年8月4日(2005.8.4)
 【年通号数】公開・登録公報2005-030
 【出願番号】特願2004-43653(P2004-43653)
 【国際特許分類】

A 4 1 G 3/00 (2006.01)

A 4 5 D 7/00 (2006.01)

【F I】

A 4 1 G 3/00 J

A 4 5 D 7/00 P

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月20日(2007.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら上記、短髪を長髪に連結する、従来の方法では、以下の不都合な面がある。即ち、二つの自毛束とヘアーエクステンションの二つの束とを交差と編み合わせを行わなければならないので、一人で作業するのは困難であり、また編み合わせ工程が多いために効率が悪くまた、交差と編み合わせ行うだけなので自毛束とヘアーエクステンションの結束力が弱く、長期の使用に耐えられないという欠点がある。さらに自毛束とヘアーエクステンションの編み合わせ部分が、こぶ状ないし太巾に形成され、触感的にはもちろん、また外観的にも異物感ないし違和感があり、多くの顧客はその仕上がりに不満感を持っている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上記、従来技術の諸問題に鑑み、一人の作業で自毛束とヘアーエクステンションの連結作業を短時間で行うことができかつ、両者の結束力を強くすると共に、自毛束とヘアーエクステンションの編み合わせ部分を小さくし、かつ細巾で1本の線条に編み上げることができ、さらに両者の結束力が強く、継続して使用することのできる、毛髪の編付け法を提供することを目的としている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明に係る、毛髪の編付け法は、上記の構成になるから以下の効果を奏する。即ち、請求項1～請求項3によれば、複数本のヘアーエクステンションからなる集束体を、左右の

自毛束とを交互に順次、水又はヘアローション等の液体で湿らせながら下方に向けて三つ編みし、その三つ編みされた終端部を、糸ゴム等で巻回し固定するので結束力が強く、短髪又は長髪が緩んだり、こぶ状になったりすることがなく、小さくかつ、細巾で1本の線条に編み上げることができるので、見映えが極めて良好であり、顧客には充足感を与えることができる。さらに本人はもちろん、他人にもなんらの違和感を感じさせることなく、長期の使用にも耐えられる。